

第 7 章 基本計画の実現に向けた事業手法

(1) 基本的な考え方

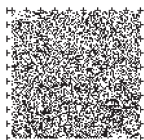
施設拡充の検討にあたっては、公共の財政負担の低減や施設の効率的な運営を図ることを基本に、多彩なデザイン提案を募ることができる設計者の選定手法や、来館促進や美術館運営、施設管理の効率化など整備、運営面における民間ノウハウの活用を含めた事業手法について、以下の考え方を踏まえつつ、民間事業者の意見を参考にしながら、検討していきます。

① 整備面における考え方

- 天神の中心に位置する警固公園に施設拡充を行うにあたっては、公園との一体化や象徴的なエントランスをはじめとする建築の意匠性、アートを感じられる屋外空間の創出など、魅力的な建築・空間デザインが必要不可欠となるため、多彩なデザイン提案を募ることができる手法の検討が必要です。
- 美術館の基幹機能を維持し、運営や活動の独自性、柔軟性、継続性を確保できる施設整備が必要です。
- 福岡の新たな顔となる施設であり、地下空間特有の浸水対策や災害対応など、事業の特殊性を踏まえた十分な配慮が求められることから、本市の関係部署と連携して取り組むとともに、民間の知見を活かしながら、施設整備の実現に取り組めます。
- 来館促進やにぎわい創出に資するサービス機能において、民間の創意やノウハウを活かすことができる施設整備について検討することが必要です。
- 整備の進捗状況も継続的にお知らせし、本事業への市民の理解促進に取り組めます。

② 運営面における考え方

- これまでの先駆的な取組みの継続により培ったアジア美術館の文化的意義や評価などの強みを最大限活用できるよう市が引き続き担っていきます。
- 美術館運営、施設管理の効率化や美術館の利用活性化のため、民間ノウハウを活用した体制の検討が必要です。



〈官民の役割分担イメージ〉

市が担っていくもの	民間のノウハウ活用が期待できるもの
<ul style="list-style-type: none">● アジア美術館収蔵品の収集、保管、調査研究● 収蔵品の適切な展示、公開● 教育普及活動	<ul style="list-style-type: none">● 維持管理業務の効率化● 行き届いた接遇等の利用者サービス● 美術館の集客向上や多様な利活用を図るサービスの提供

〈事業手法の例〉

事業手法	特徴
分離分割発注 (従来方式)	● 資金調達は公共が行い、施設の設計、工事、維持管理、運営を民間に分離分割発注する方式。
DBO方式	● 資金調達は公共が行い、設計、施工、維持管理、運営を民間に一括で発注する方式。
PFI-BTO方式	● 資金調達は民間が行い、設計、工事、維持管理、運営を民間に一括で発注する方式。

(2) 設計手法の検討について

第5章第2節「拡充先における施設整備の基本的な方針」に沿った施設とするためには、より魅力的な建築・空間デザインが必要であるため、基本設計を対象とした公募を実施し、多彩なデザイン提案を募ります。

(3) 事業手法の検討について

事業手法の検討にあたっては、コストや財政負担など定量的な評価のほか、施工の実現性や民間事業者の事業参画性などの観点から定性的な評価を行い、検討します。その中でも、エントランスなど警固公園(地上部)に必要な施設については、公園等との連携の考え方や公園として考慮すべき視点に留意したうえで、規模や配置、美術館としての統一的なデザイン性、地下構造物への影響等を踏まえ、民間ノウハウの活用の可能性も含め検討します。

